

平成14年度

88億円の使途は

質問 旧伊予銀行跡地公園はただの駐車場になつている。活性化のための活用を。

答弁 商工会からの強い要望で整備し、管理運営を委託している。活用方法は商工会で考えるが協力はやぶさかではありませ

ん。
質問 介護保険料の滞納が増えている。不公平感を感じることが今後の対応は。

答弁 口座振替の推進を図り、障害年金や遺族年金も天引きできるように引き続き国へ要望します。

質問 予算の流用・予備費充用の件数・額にも多い。安易に行わず議会の議決に付すように。

答弁 緊急を要する場合など特別な事情に限り必要最小限の範囲で行っている。議会の議決に付すことを第一義に考えるよう十分注意します。

質問 臨時保育士の問題は、繰り返し改善を求めてきたがむしろ比率が悪くなっているがどうか。

答弁 行政改革の中で職員定数を増やすことはむずかしく、厳しい状況でやむを得ないと考えます。

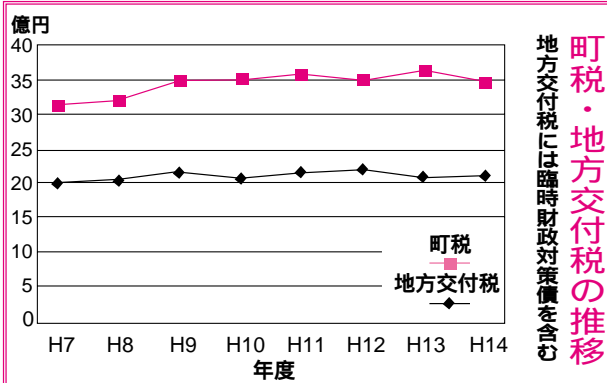
質問 水道の有収率が低い。原因を調査し向上の努力を、また安易な値上げはするべきでない。

答弁 有収率を下げる主要な原因に水源地の流量計が考えられるので、検査と取替をします。料金改定は現在考えていません。

給食センター



給食センター



町税・地方交付税の推移
地方交付税には臨時財政対策債を含む

決算規模

(一般会計以外は歳出)

()内は平成13年度

一般会計

歳入決算額：93億2,291万円 (83億 455万円)
 歳出決算額：88億8,206万円 (78億 671万円)
 歳入歳出差引額：4億4,084万円 (4億9,783万円)
 翌年度繰越財源：1億8,098万円 (2億3,956万円)
 実質収支額：2億5,986万円 (2億5,827万円)

国民健康保険特別会計：21億1,757万円 (22億4,420万円)

老人保健特別会計：30億3,419万円 (29億4,225万円)

公共下水道事業特別会計：13億4,006万円 (15億8,064万円)

介護保険特別会計：15億6,587万円 (14億 232万円)

水道事業会計

収益的支出：2億6,938万円 (2億7,613万円)
 資本的支出：8,074万円 (7,236万円)

決算認定とは

決算の認定は、議会が町長から提出された歳入歳出決算書に基づき、歳入歳出予算の執行結果を確認し、その執行が適法に行われたかどうか審査するものです。すなわち、適正な予算執行がなされているか、期待した行政効果が達成されているか、予定した財源は確保されているかなどに留意して審査するものです。